

# 山口県医師会報

発行所 山口県医師会  
〒 753-0811 山口市大字吉敷 3325-1  
083-922-2510  
編集発行人 藤原淳  
印刷所 大村印刷株式会社  
定価 220 円 (会員は会費に含め徴収)

平成 16 年 7 月 21 日号

1718



竜尾の滝 (錦町寂地峡)

尼崎 辰彦 撮

顕彰.....	490
山口県医学会総会・山口県医師会総会.....	491
平田晴夫先生を偲んで.....	492
県医師会の動き.....	494
理事会.....	497
日医 FAX ニュース .....	490
会員の動き.....	501
お知らせ・ご案内.....	502
編集後記.....	504

ホームページ <http://www.yamaguchi.med.or.jp>  
メールアドレス [info@yamaguchi.med.or.jp](mailto:info@yamaguchi.med.or.jp)

## 顕 彰



瑞宝双光章

佐島 廣一先生（下関市）

平成 16 年春の叙勲

山口県警察嘱託医として尽力されました。



旭日双光章

檜垣 慶典先生（柳井）

平成 16 年春の叙勲

地域保健衛生の向上に貢献されました。

### 山口県学校保健連合会表彰

高田 敏昭先生（美祢市）

平成 16 年 1 月 15 日

学校保健の円滑な運営に尽力されました。

## 日医 FAX ニュース

2004 年（平成 16 年）7 月 6 日 1464 号

混合診療の解禁反対で一致

混合診療、株式会社参入の解禁を

保健事業の地域・職域連携を全国に普及へ

公衆衛生医の育成・確保策でアンケート

健保組合・関連団体による健康サービス産業創出

2004 年（平成 16 年）7 月 2 日 1463 号

混合診療解禁は公的保険の守備範囲縮小に

「軽減税率と事業税非課税との関係整理が必要」

混合診療解禁問題は特定療養費制度の改善で

適切なケアマネジメントの徹底を

職域検診項目の規定をめくり論議

へき地の医師配置特例の要件提示

# 第 87 回山口県医学会総会 第 58 回山口県医師会総会

と き 平成 16 年 6 月 13 日 (日)  
と ころ スターピア下松



医師会総会では下記の通り表彰式が行われ、参加された 20 名に表彰状・感謝状の授与が行われた。つづいて、定款第 26 条第 2 項の規定に基づき、収支決算、事業報告、代議員会議決事項が報告された。

下松医師会が担当された医学会総会では、午前の部特別講演として、日本大学医学部外科学講座消化器外科部門教授の高山忠利先生による「肝臓外科の現況と課題」、山口大学医学部器官制御医科学講座（第一外科）教授の濱野公一先生による「循環器外科治療の現況と展望」が講演された。

午後の部は、市民公開講座として、下松市吹奏楽団による吹奏楽演奏、聖路加国際病院理事長の日野原重明先生による「健やかに老いる生き方」が講演された。会場は満席となり、数百名もの方が入場できないほどの盛況を得た。

なお、来年度の担当は宇部市医師会となっている。

### 一、医学医術に対する研究による功労者表彰 下関市医師会糖尿病対策委員会

### 二、表彰規定第二条二項による表彰 井上知憲様(下関市)

### 三、長寿会員表彰

田上小牛清橋森緒吉野安野門河綿森田下武大尾河木	所野林尾永本方永村口屋村貫重村武松尾谷木	翼誠茂昭次操元道兼夫嘉昭一郎重専照勝文居松県高村	様(玖珂郡) 様(吉南郡) 様(美祢郡) 様(下関市) 様(下関市) 様(下関市) 様(下関市) 様(宇部市) 様(宇部市) 様(宇部市) 様(宇部市) 様(山口市) 様(山口市) 様(萩市) 様(徳山府) 様(防府府) 様(防府府) 様(下松市) 様(下松市) 様(岩国市) 様(小野田市) 様(柳井市) 様(長門市)	河本石織古松山佐々永中石野大弘阿佐弓水藤川中河生	菅丸畠賀尾本々木谷山井口石田部伯削津原岡島辺駒	博トシ敏滋茂一久昭忠男隆子保光之一大昭雄浩夫彦	様(熊厚郡) 様(下関市) 様(下関市) 様(下関市) 様(下関市) 様(宇部市) 様(宇部市) 様(宇部市) 様(山口市) 様(萩市) 様(徳山府) 様(防府府) 様(防府府) 様(下松市) 様(下松市) 様(岩国市) 様(小野田市) 様(長門市) 様(美祢市)
-------------------------	----------------------	--------------------------	--	--------------------------	-------------------------	-------------------------	--

### 四、役員・代議員・予備代議員・都市医師会長通算十年以上の表彰

吉田興池深前	本中山本野前	正博 様(下関市) 様(宇部市) 様(山口市) 様(萩市) 様(防府府) 様(光市)	弘山東山小金丸玉河	直輝一紘恒隆伸 様(下関市) 様(宇部市) 様(山口市) 様(徳山府) 様(岩国市) 様(山口大学)
--------	--------	--	-----------	--

### 五、退任役員感謝状贈呈

藤東藤廣末	井康良俊中兼	宏輝夫弘史 様(長門市) 様(宇部市) 様(下関市) 様(岩国市) 様(防府府)	柏村小山津	皓達本田廣 様(下関市) 様(山口市) 様(宇部市) 様(徳山府)
-------	--------	--	-------	-----------------------------------

# 哀 悼



故 平田 晴夫 先生

元山口県医師会会長  
山口県医師会顧問

## 経 歴

大正 13 年 7 月 14 日 生まれ

昭和 23 年 3 月 九州高等医学専門学校卒業

昭和 27 年 4 月 19 日 開業

昭和 47 年 4 月 1 日 ~ 昭和 49 年 3 月 31 日 県理事

昭和 53 年 4 月 1 日 ~ 昭和 55 年 3 月 31 日 県理事

昭和 55 年 4 月 1 日 ~ 昭和 57 年 3 月 31 日 県専務理事

昭和 57 年 4 月 1 日 ~ 昭和 59 年 3 月 31 日 県副会長

昭和 59 年 4 月 1 日 ~ 昭和 63 年 3 月 31 日 県会長

昭和 61 年 4 月 1 日 ~ 昭和 63 年 3 月 31 日 日医理事

昭和 63 年 4 月 1 日 ~ 平成 4 年 3 月 31 日 日医裁定委員

平成 6 年 11 月 1 日 日本医師会優功賞

平成元年 4 月 28 日 藍綬褒章

平成 16 年 6 月 15 日 永眠

## 平田晴夫先生を偲んで

顧問 河野 俊貞

それは昭和 56 年 6 月 25 日の都市医師会長会議で、厚狭郡医師会長「名和田 豊先生」が手厳しい質問「県医師会は地区医師会を訪問して協議すると言われるが、昨年は何の連絡もなく来なかったことは郡医師会を軽視しているのか」をされた。

先生は当時専務理事で司会をされていたので、厚狭郡医師会訪問ができなかった理由を述べて陳謝された。しかし議事が進行するうちに再度名和田先生から詰問され、再度陳謝されるのを見て平田先生は懐の深い人だと感じた。

当時の県医師会報は会議の発言等がきちんと記載され、いま読んで臨場感がある。会報は会員のものだから会議等の記事は詳しく掲載しなければならぬという先生の理念の成果だと思う。

昭和 57 年、副会長に就任され、前年度から県医師会でも機運にあったプライマリ・ケアの重要性と地域医療計画の策定に積極的に取り組む必要性を説かれ、医療法の改正について県医師会の事業としての取り組みが開始された。

すなわち、地域医療計画は県医師会独自の展開をと故佐野和男先生を常任理事に据えてその任にあてられた。

早速、地域医療計画委員会を設置し新進気鋭の委員「後でそれぞれ都市医師会長になった方々」を任命して発足した。この平田・佐野の二頭立ての馬車は、行政・医師会・住民の三者一体の計画を策定し PLAN・DO・SEE を実践しておられた日本医師会佐野正人常任理事を招聘し、都市医師会会長に地域医療計画の必要性を説かれた。

その実践の手段として、山口県医師会員の医療に関する意識調査を手始めに、患者調査を 9 医療圏ごとにまとめ、さらに医療圏における患者の流出流入の現状を把握した。

そして診療機能の調査と矢継ぎ早に着手し、いわゆる穴倉あなぐらと称する部屋を確保しスタッフには理論の三井 清先生と統計は山大医学部の岩本 晋先生、実務実践は県庁から山下 久氏を加えて県医師会事務局次長の三井さんほか職員の資料作りは

素晴らしかった。

当時はワープロやパソコンも今ほど普及せず、数値処理を図形化できる器械を駆使し、外注による統計処理等で事業が進行した。

委員会の討議で疑問に出くわすと、口角泡を飛ばして論議し最後には平田先生が「これでいきましょう」と英断されたものだった。かくして山口県の地域医療計画は着々と進み、ちなみに患者調査の手法は現在も国の調査の根幹となっていると聞く。

副会長就任直後から平成 6 年 3 月まで日本医師会定款諸規程等検討委員会委員に委嘱され、宮崎秀樹現日本医師会副会長とは丁丁発止の議論を交わされた中で現行の日医定款を纏められたと聞いている。

昭和 59 年に会長に就任されてからは、山口県医師会創立百周年記念事業に意をそそがれ故田村武男副会長とのコンビでの事業の成果は一段と光り輝いた。

なかでも県医師会館の建設には会員の負担を少なくと意を尽くされ、次に託す言葉として「これからの百年を県医師会、会員諸兄、そしてあとに続く会員が輝かしい足跡を残して歩みつづけられることを心より祈るものである」と結ばれ、2 期 4 年を完全燃焼された。

会長を辞められてからあの忌まわしい病魔に取りつかれるまでは、親しい友人と旅行に登山にと元気な日々であったとうかがっていた。ある日、山口市で開催された立花 隆先生の環境問題を聴かれ、ハガキ一杯に環境問題について事細かに書かれた所感をいただいた。この追悼文を書くにあたりそのハガキ一枚で先生を偲ぶに足ると思いつきしたが見当たらず申し訳なく思っている。

間もなく 7 月 14 日が来る。先生は口癖のようにこの次の誕生日は巴里でと言っておられたとか、私も古い SP 盤の「巴里の屋根の下」をかけて「平田先生いま巴里ですか」と呼びかけてみよう。平田春夫先生大変お世話になりました、安らかに眠りください。

副会長 木下 敬介

山口県の今年の梅雨入りは5月29日。例年より10日ばかり早い。6月19日には超大型台風接近のニュース。翌20日は、この台風6号の影響で西日本各地は6月としては観測史上記録的な暑さになった。福岡37.3度、萩34.3度。台風6号は勢力を弱めながら四国から近畿を抜けたので、山口県への影響は少なくはあった。6月24日(木)、第20回参議院選挙告示。そして7月11日投票。すぐあとには県知事選が控えている。医師会(医師連盟)の動きは、台風の日になるのだろうか。

6月1日(火)夕刻、萩市長北医療センターにおいて二次医療圏座談会。会報掲載のシリーズもので、今回は第5回目。県医師会から両副会長、広報・地域医療担当の各常任理事、地元を代表して阿武郡・萩市・長門市の各医師会長及びこの地区の7病院長による座談会となった。詳細は会報に譲るとして、深く考えさせられたことは田舎の患者さんたちは一度入院したらいつまでもその病院から離れたがらない事実。つまり、今の医療制度の急性期、慢性期、介護療養、在宅という流れに乗りたがらないということだ。そしてまた、流れに応じられる医療機関も十分整っていないことも事実。もうひとつは市町村合併と医師会の問題。長門市は1市3町が来年3月に合併することが決まっており、長門市医師会はもともとこの1市3町の範囲なのでほとんど問題はないが、萩市と阿武郡4町4村との合併は深刻のようだ。阿武郡医師会の苦慮が分かるような気がする。これからも市町村合併にともなう郡市医師会のいろいろな問題が懸念される。

6月5日(土)、全協中国四国支部総会が高知市において開催。山口県医師国保組合から理事長、副理事長、常務理事及び事務長の計6名がこれに参加。「全協」とは全国国民健康保険組合協会のこと、市町村国保(3,235組合)以外の職能国保(166組合)を指す。都道府県医師国保(47組合)もこの全協に含まれる。全協の総会が年2回、支部総会が年1回開かれるが、平成16年度の中国四国支部総会が高知県医師国保組合が担当。これとは別に医師国保組合だけの全医連(全国医師国保組合連合会)の総会が年1回、中国四国支部総会が年1回開かれる。平成15年度全医連総会は、山口県医師国保組合の引き受けで昨年10月に広島市で開催された。これらの会議の目的は、医療情勢や組合運営についての情報交換と国庫補助削減への対応が主体。

6月8日(火)・9日(水)の2日間は早朝から岩国市医師会を皮切りに、松田仁総括担当(日本医師連盟)が県下の郡市医師会すべてを駆け巡り、公的皆保険制度崩壊の危機を訴えた。これには県医師連盟副委員長も同行。松田先生の訴えの中で「目からウロコ」ともいふべき話を聞いた。医師会と医師連盟の関係について、社団法人医師会のできる活動は地域医療・保健・福祉と生涯教育くらいで、会員の関心の高い診療報酬、医事紛争、医業、税制、勤務医の過重労働、医師派遣問題など、これらすべては医師連盟活動の中で取り扱われるべき問題だということ。つまり、医師あるいは医師会の権利や生活環境に関する問題は、社団法人にはそぐわないということ。医師あるいは医師会の権利や暮らしにかかわる主張を実現させるためには、どうしても医政活動が必要となり選挙

運動もやるが、医師連盟すなわち選挙運動ではなく、われわれの生活改善を図るのが医師連盟の本来的目的であるということらしい。なるほど、これなら分かりやすいし、医師連盟ぎらいの会員や勤務医の先生方にも理解してもらえらるかもしれない。

6月10日(木)・11日(金)の2日間、特定共同指導が行われた。これは臨床研修指定病院、大学附属病院等の保険医療機関を対象に厚労省と地方社会保険事務局・国保医療室との共同で保険指導が行われるもの。今回はDPC施行の医療機関が対象となり、指導に際して日医保険担当常任理事と山口県医師会からも担当の理事、常任理事、副会長が立ち会った。これまででもずいぶん個別指導には立ち会ったが、一般に大病院ほど保険診療に対する認識があまい。療養担当規則についても十分周知されておらず、「算定要件を満たす」ことについても十分理解されていない印象を受けることが多い。

6月13日(日)、第87回山口県医学会総会・第58回山口県医師会総会が下松医師会の引き受けでスターピアくだまつにおいて開催。総会をはさんで午前中に医学的学術講演2題と午後には市民公開講座として日野原重明先生による「健やかに老いる生きかた」の講演があった。特に市民公開講座には1,000人収容の会場に1,500人が押しかけて対応に大変だったとか。それにしてももうすぐ93歳になられる日野原先生のお元気なこと。話の内容も深く印象に残ったが、それよりも元気をいっぱいもらって帰路についたことがいつまでも頭の中に残るだろう。

6月17日(木)山口県報道懇話会との懇話会。昨年度に引き続き今回で2回目。山口県における報道関係担当者と県医師会役員との意見交換により、医療に関するマスコミと医師会の認識のずれをどうにかできないかというのがこの会議の趣旨。最初に県医師会側から最近の医療情勢、県医師会の会務分担や地域医療への取り組み等について説明し、あとフリートークとなったが、「安全管理とコスト」について意見交換があったくらいで、つっこんだ議論の応酬はなく時間切れとなった。あとの懇親会の席で、報道関係者側から医師会の話は分かりにくいという指摘もあって、次回からはもう少しテーマをしばって議論を交わすようにした方がよいのではないかとということになった。

6月19日(土)の午後、郡市医師会長会議が開かれ、「卒後臨床研修制度にともなう研修医の対応」と「山口県医師会ドクターバンクの開設」の2つの議題について協議された。今回の変則的な会議は、7月15日に予定されていたものを8月29日の日医代議員会のあと9月9日に変更したことによる。日医代議員会も例年なら10月に行われるところだが、今年度は植松新執行部体制の補正予算と業務見直しなどにより、8月に前倒しで開催されることとなった。

郡市医師会長会議の前に執行委員及び医政担当に集まっていたが、山口県医師連盟選対本部会議が行われ、第20回参議院選挙への対応について協議された。会議の最初に安藤啓次郎山口市医師会理事作成のビデオが映され、安藤先生自らの解説があったが、内容が分かりやすく素晴らしい出来映えの作品。勤務医の先生方向けに作ったと

## やまぎん<sup>SM</sup>スーパー変動金利定期預金〈投信セット〉

株式投資信託のご購入と同時に預け入れいただくと、お預け入れ日から

6か月間の上乗せ利率が **年1%**

中途解約された場合、当行所定の中途解約利率を適用します。くわしくは店頭の説明書をご覧ください。

- ・スーパー変動金利定期預金のお預け入れ金額・・・30万円以上
- ・株式投資信託のご購入金額・・・スーパー変動金利定期預金のお預け入れ金額以上



平成16年6月1日現在

いう。「100万本のバラ」と「獅子身中の虫」のキャッチフレーズが、的を射ており忘れられない。勤務医の先生方だけでなく若い医師会員にも見ていただきたい内容だった。つまり、「明日は我が身」ということ。

6月24日(木)の本年度第4回理事会では、日医各種委員会出向の人事があり、勤務医委員会に三浦専務理事、健康スポーツ医学委員会に浜本常任理事の出向が決定。このことについては6月3日の第3回理事会からの継続協議であり、山口県医師会としてはこれまで長い間のポストである診療報酬検討委員会にも出向させたかったのだが、19の委員会を中国四国ブロックの9県で分けることになると3つの委員会は多すぎるといふことで、他の県が手をあげた診療報酬検討委員会のポストは手放さざるをえなかった。ところが直後に植松日医会長から藤原会長へ診療報酬検討委員長就任の要請があり、その要請を受けることに対して7月1日の理事会では役員全員が拍手喝采。快挙。藤原会長にはこれまで4年間診療報酬検討委員として頑張っていたが、これからは委員長として医療保険の分野で立派な仕事をやり遂げてもらうことを期待したい。もちろん2人の出向委員にもよい仕事をしていただきたい。

6月27日(日)の午後、山口県小児救急医療電話相談事業研修会が県医師会館大会議室において開催。この電話相談事業は山口県が実施主体となり、県が県医師会に要請し山口県小児医会の協力を得て実施するもの。目的は、小児患者の保

護者からの電話相談に適切に対応することによって、保護者の不安の軽減と不要・不急な受診の抑制に役立てることにある。7月1日から下関市・周南市・宇部市の3か所のいずれかの救急センターの専属看護師によって毎晩電話相談に応じることになるが、山口県は広島、三重、大分の各県に次いで4番目に実施することになるとのこと。広島県と三重県では小児科医が電話相談に対応したが、大分県では看護師が対応した。電話で治療するわけではないから、医師よりも看護師の方が適切だといふ。今回の研修会は7月1日実施にあたって実施方法を周知させるとともに、大分県方式についてこれと最初から取り組んできた大分県小児科医会長・臼杵市医師会理事東保先生の講演を聴講するもの。日曜日の蒸し暑い午後にもかかわらず、100名余りの小児科医・看護師が熱心に研修を受けた。

もうひとつ県医師会の重要な動きとして、6月21日(月)の県歯科医師会との鳩首会談、6月30日(水)の県歯科医師連盟理事会への県医師連盟委員長、副委員長の参加があるが、詳しいことは山口県医師連盟ニュースに掲載する機会があるかもしれない。

「<sup>さみだれ</sup>五月雨を集めて早し最上川(芭蕉)」は梅雨のこの時期の句だが、今年の6月の後半は台風6号の影響による集中的大雨はあったものの、真夏のような天気が続いた。7月に入ってもう一度本格的な雨が降るらしい。7月11日の参議院選挙の結果はどうなることやら。



医療継承・医療連携  
医師転職支援システム

(登録無料・秘密厳守)

## 後継体制は万全ですか？

D to Dは後継者でお悩みの  
開業医を支援するシステムです。  
まずご相談ください。



●お問い合わせ先 コンサルティング統括部

**0120-33-7613**

【携帯、PHS対応】受付時間:9:00~18:00(月~金曜日)担当:藤原・伊藤

<http://www.sogo-medical.co.jp>

よい医療は、よい経営から

**総合メディカル株式会社。**

山口支店 / 山口県吉敷郡小郡町高砂町1番8号 安田生命小郡ビル6階  
TEL(083)974-0341 FAX(083)974-0342  
本 社 / 福岡市中央区天神 東京本社 / 東京都品川区西五反田  
■国土交通大臣免許(1)第6343号 ■厚生労働大臣許可番号40-01-エ-0064  
■東証一部上場(証券コード:4775)

## 理事会

## 第 4 回

6 月 24 日 午後 5 時～ 7 時 30 分

藤原会長、上田・木下副会長、三浦専務理事、  
吉本・濱本・佐々木・西村各常任理事  
正木・小田・湧田・萬・杉山・弘山・加藤・  
田中各理事、小田・山本各監事

## 協議事項

- 1 第 48 回社会保険指導者講習会の受講申込について  
出席者の確認。
- 2 山口県医師会ドクターバンクの開設について  
1717 号の郡市医師会長会議報告記事参照。開設後は求人・求職情報をホームページ等に掲載予定。
- 3 日医女性会員懇談会員について  
中四国ブロックより 1 名推薦することとなっているが、広島より選出してもらうこととした。
- 4 応急救護措置指導員養成講習開催にともなう講師派遣要請について  
自動車教習所において、教習生を対象とした応急救護処置講習が義務づけられているが、その指導員の養成のため、講師派遣を要請された。

## 人事事項

- 1 日医各種委員会の委員について  
中四国ブロックにおいて、勤務医委員会と健康スポーツ医学委員会を山口県が担当することとなった。
- 2 スポーツ医・科学サポート委員会及び専門部会委員の推薦について  
財団法人山口県体育協会が体育・スポーツ振興として標記委員会等を設置するため、委員の推薦を求められた。

## 報告事項

- 1 交通安全山口県対策協議会総会 (6 月 3 日)  
事業報告・収支決算等について協議。高齢者対策を強化するとのこと。(事務局)
- 2 健康やまぐち 21 推進協議会 (6 月 3 日)  
健康づくり対策の推進・地域職域連携共同モデル事業・8020 推進・分煙化推進実態調査・健康やまぐち 21 等について報告が行われた。(上田)
- 3 山口県救急業務高度化推進協議会 (6 月 3 日)  
救急業務高度化推進事業・気管挿管講習及び実習の実施・ワークステーション方式による救急救命士の再教育・救急ステーション認定制度の普及(県内にモデル地区を 2 か所選定)について協議。その他、事後検証検討会の開催状況について報告が行われた。(佐々木)
- 4 山口県学校保健連合会理事会 (6 月 3 日)  
教育現場における禁煙教育を強化するとのこと。その他、平成 15 年度事業報告・決算報告等が行われた。(杉山)
- 5 乳幼児保健委員会 (6 月 3 日)  
日医乳幼児保健講習会の報告が行われた。予防接種週間における接種件数は決して多くはなかったが、来年度も継続するとのこと。その他、園医・嘱託医の活動等に関する調査結果を受けて、今後の活動等について協議。(浜本)
- 6 郡市看護学校担当理事・教務主任合同協議会 (6 月 3 日)  
卒後進路では卒業生の 36% が就職し、このうち 93% が県内就職。県内の定着率が高い。その他、母性看護実習では、分娩数の減少により実習が困難となってきた。特に男子生徒の受け入れがないため、ビデオ実習で補っている状況が続いている。(西村)
- 7 花粉情報委員会 (6 月 3 日)  
平成 16 年のスギ・ヒノキ花粉飛散状況について・天候・気温等をもとに協議。ヒノキは予測が

困難とのこと。県民・医療関係者への幅広い情報提供を行っていく。(加藤)

8 山口県感染症健康危機管理対策協議会  
(6月3日)

県内で発生したバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)の発生状況と対策について協議。なお、実害は発生していない。(杉山)

9 小児救急電話相談事業打合せ(6月4日)

周南・宇部・下関の3地区における相談実施事業について、7月1日の開始時期に合わせ、プライバシーの保護・予算・手当・相談対応者の最終調整に入っている。なお、負担割合は、国庫と県費が半々。(佐々木)

10 山口県防災会議(6月7日)

防災計画修正案に基づき、洪水・地震対策について報告が行われた。(事務局)

11 山口県成人病検診管理指導協議会子宮がん部会(6月2日)、乳がん部会(6月8日)

国の指針の一部改正により受診間隔が年1回から2年に1回となったことで、現場の体制の変更が必要となること等につき協議。また、受診率の低下を招かないよう、行政に要望を行った。(浜本・正木)

12 特定共同指導「宇部市」(6月10、11日)  
2日間にわたり実施され、立ち会った。(西村)

13 養護学校における医療的ケアに関するモデル事業第1回運営委員会(6月10日)

養護学校における医療的ケアの成果と課題について検討。学校や地域の実情に即した適切な医療的ケアの実施体制のあり方について協議し、モデル事業の中間報告が行われた。(杉山)

14 広域予防接種運営協議会(6月10日)

広域予防接種委託料金・接種料金等について現状報告。その他、国保連合会に委託する予防接種請求支払一括システムについて協議。(浜本)

15 山口県新生児聴覚検査専門委員会(6月10日)  
平成15年度新生児聴覚検査実績において、精密検査では9名のうち1名が難聴の疑いと報告された。(浜本)

16 山口県医学会・医師会総会(6月13日)  
本号記事参照。市民公開講座では1,100名の参加があったが、会場が満席となったため、500名近くの入場を断るほどの盛況となった。(三浦)

17 社保国保審査委員連絡委員会(6月17日)  
次号記事参照。(萬)

18 山口県患者調査医療機能調査作業部会について(6月17日)

患者調査・医療機能調査を行う原案作成の作業部会を開催。退院患者の行き先とスムーズなケアが行われているか、介護施設の連携がはかられているか等を調査。(佐々木)

19 郡市成人高齢者保健担当理事協議会  
(6月17日)

健康づくり対策・がん県民講座の実施・インフルエンザワクチン等について協議。本年1月には、一部診療所においてワクチンが不足したが、在庫を持った医療機関を紹介することで不足は免れた。(浜本)

20 山口県報道懇話会との懇談会(6月17日)  
医療安全・県医業務について説明し、フリーディスカッションを行った。(三浦)

21 山口社会福祉協議会地域福祉推進委員会  
(6月18日)

「第3次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」素案作成について協議。(佐々木)

22 山口県心臓疾患対策協議会理事会・総会  
(6月21日)

県内の心臓手術症例・心筋梗塞発生状況・先天性疾患の発生頻度が報告された。その他、モンゴル渡航小児循環器診療の厳しい医療環境について特別講演が行われた。(浜本)

23 山口地方社会保険医療協議会 (6 月 23 日)  
新規 2 件、交代 1 件。承認。 (藤原)

24 山口県社会保険診療報酬支払基金幹事会  
(6 月 23 日)  
4 月分診療報酬支払額の対前年同月比 99.8%。  
レセプト電算システムの参加状況等について報告  
が行われた。 (藤原)

25 看護協会通常総会  
会長挨拶。 (藤原)

### 互助会理事会 第 3 回

1 傷病見舞金支給申請について  
2 件申請。承認。

### 医師国保理事会 第 3 回

1 全協中国・四国支部総会並びに委託研修会に  
ついて (6 月 5 日)  
平成 15 年度事業報告・収支決算等の報告の他、  
国保組合をめぐる諸情勢について講演が行われ  
た。 (佐々木)

2 傷病手当金の支給について  
1 件申請。承認。

### 母体保護法指定審査委員会

1 母体保護法指定医申請  
1 件申請。承認。

2 母体保護法認定研修機関定期報告  
11 医療機関の実績を報告。

<h2>理事会</h2>	<h2>第 5 回</h2>
<p>7 月 1 日 午後 5 時 ~ 6 時 15 分</p> <p>藤原会長、上田・木下副会長、三浦専務理事、 吉本・濱本・佐々木・西村各常任理事 正木・小田・湧田・萬・杉山・弘山・加藤・ 田中各理事、青柳・小田・山本各監事</p>	

#### 協議事項

1 美祢社会復帰促進センターについて  
美祢市で整備が予定されている刑務所の運営に  
おいて、施設内診療所を活用した地域住民に対す  
る診療業務の企画が提出されていたが、これを削  
除するよう要請した。

2 スポーツ医・科学サポート委員会専門部会委  
員について  
山口県体育協会設置の標記委員会の一部委員に  
おいて、所属専門部会を変更するため、了解を求  
められた。承認。

#### 人事事項

1 学校・地域保健連携推進事業について  
本事業における推進連絡協議会の委員の推薦を  
要請されたことについて、杉山理事を推薦するこ  
ととした。

2 診療報酬検討委員会について  
日本医師会より、藤原会長に診療報酬検討委員  
会の委員長就任を要請された。了承。

#### 報告事項

1 山口県国保連合会介護給付費審査委員会  
(6 月 24 日)  
医療部会において、特定診療費についてレセプ  
ト審査を行った。 (佐々木)

- 2 医事紛争対策委員会(6月24日)  
2件について協議。(吉本)
- 3 介護保険対策委員会(6月24日)  
山口県における居宅対施設は38対62。全国では47対53となっていることから、全国に比べて山口では、施設サービスが多い。(弘山)
- 4 学校保健問題対策委員会(6月24日)  
11月21日(日)開催の山口県医師会学校医研修会の運営・平成17年度中国地区学校医大会引き受け等について協議。その他、色覚検査・伝染病による出席停止扱いについて現状を報告。(杉山)
- 5 医療廃棄物三者協議会(6月24日)  
感染症廃棄物処理マニュアルの改正・九州7県の産業廃棄物税導入の説明が行われた。非感染性廃棄物は鋭利な物であれば、感染性廃棄物と同等の扱いをすること。(西村)
- 6 健康やまぐち21「こころの健康づくり」分科会(6月24日)  
うつ対策の効果的な普及啓発としてパンフレットを作成することとした。また、従来の対策は電話相談等で実際に対話をする場がなかったため、対話場所の設置を行政に求めた。(田中)
- 7 第29回中国ブロック柔道整復学会前夜祭  
(6月26日)  
会長挨拶。(藤原)
- 8 小児救急医療研修会(6月27日)  
大分県の子供救急電話相談事業の報告では、大分県小児科医会会長より、山口県方式が全国のスタンダードになるのではないかとの評価を受けた。電話相談は医療ではないため、関係者のコンセンサスを得ることが重要と述べられた。(佐々木)
- 9 第66回国体山口県準備委員会第4回総会  
(6月28日)  
運営について協議。(事務局)
- 10 山口県高齢者保健福祉推進会議(6月29日)  
設置要項の一部改正(委員の任期を2年から3年に変更) 運営要領の一部改正(高齢者虐待防止検討部会の設置)について報告が行われた。(木下)
- 11 山口県精神保健福祉協会理事会(6月30日)  
事業報告・事業計画について協議。今年度は児童虐待・薬物対策・こころの病気・うつ・ハートフェスティバル・こころの健康相談事業を行う。(上田)
- 12 編集委員会(7月1日)  
二次医療圏座談会・夏季特集号(緑陰随筆)・新年特集号等について協議。(加藤)
- 13 会員の入退会異動報告
- 14 財団法人山口大学教育研究後援財団理事会  
募金委員会を設置することとした。(事務局)

## 医師国保理事会 第4回

- 1 第1回通常組合会について  
提出議案の作成等、運営について協議。
- 2 傷病手当金の支給申請について  
1件申請。承認。

謹 弔

熊谷 良民 氏 下関市医師会  
7月3日、逝去されました。享年78歳。  
つつしんで哀悼の意を表します。

# 会員の動き

- 平成 16 年 6 月受付分 -

## 入 会

郡市	県	日	氏名	診療科目	医療機関名
玖珂郡	2 ㄥ	A2	木村 俊樹	内	(医)南和会千鳥ヶ丘病院
玖珂郡	2 ㄥ	A2	家守 紀光	精神	(医)南和会千鳥ヶ丘病院
吉南	2 ㄥ	-	長野 裕之	循	(医)協愛会阿知須共立病院
宇部市	2 ㄥ	A2	加屋野 悟	麻	(医)和同会宇部温泉病院
宇部市	2 ㄥ	-	溝部 洋之	ㄥ	(医)和同会宇部温泉病院
山口市	2 ㄥ	-	平田 真由美	神内	(医)社団若宮会山口若宮病院
萩市	2 ㄥ	A2	中橋 弘顕	産婦	(医)医誠会都志見病院
萩市	2 ㄥ	B	山下 真	内	萩市見島診療所
徳山	1	B	弘田 博彦	消・内・外・皮	弘田消化器科
徳山	2 ㄥ	-	斎藤 満	消・内	総合病院社会保険徳山中央病院
小野田市	2 ㄥ	A2	平田 健	外	独立行政法人労働者健康福祉機構山口労災病院
柳井	2 ㄥ	A2	大下 将司	外	独立行政法人国立病院機構柳井病院
山口大学	3	-	鈴木 慎介	内	内科学第二
山口大学	3	A2	安部 真彰	神内	神経内科学
山口大学	3	-	廣瀬 敬信	耳鼻	耳鼻咽喉科学
山口大学	3	-	山下 研弥	麻	麻酔・蘇生学
山口大学	3	-	杉原 正浩	内	宇部興産(株)中央病院
山口大学	3	-	中村 好貴	内	独立行政法人労働者健康福祉機構山口労災病院

## 退 会

郡市	氏名	備考
玖珂郡	岸本 真希子	南和会千鳥ヶ丘病院 より
玖珂郡	讃井 裕美	本郷村診療所 より
宇部市	末次 信昌	(医)和同会宇部西クリニック より
萩市	荒木 保博	(医)医誠会都志見病院 より
光市	伊藤 正孝	(医)至誠会梅田病院 より
長門市	自見 康孝	(医)社団成蹊会岡田病院 より

## 異 動

郡市	氏名	異動事項	備考
玖珂郡	吉村 章	勤務先	本郷村診療所【萩市見島診療所 より】
宇部市	佐貴 むつみ	勤務先	(医)社団泉仁会宇部第一病院【老人保健施設豊生苑 より】
宇部市	玉井 和則	勤務先	宇部第一病院(老人保健施設豊生苑)【宇部第一病院より】
山口市	阿武 寿人	勤務先	(医)社団青藍会あんの循環器内科
山口市	中村 修之	勤務先	縄田医院【総合病院山口赤十字病院 より】
徳山	弘田消化器科	施設名称	弘田消化器科へ名称変更、消・内・外・整・皮へ診療科目変更
岩国市	別府 敬	勤務先	岩国市医療センター-医師会病院【(医)岩国みなみ病院 より】

## 第 37 回山口県消化器がん検診講習会

と き 平成 16 年 8 月 5 日 (木) 15:00 ~  
 ところ 山口グランドホテル 「鳳凰の間」 (吉敷郡小郡町黄金町 1-1)

1 開会 15:00

2 会長挨拶

3 講習会

(1) 教育講座 15:05 ~ 16:00

「新撮影法の撮影手技」

山陽中央総合病院放射線技師

和田健太郎

「平成 14 年度胃・大腸がん精検結果報告」

(医)かわむら医院院長

河村 奨

(2) 特別講演 16:00 ~ 17:00

「胃がん検診における一次スクリーニング(撮影と読影)」

熊本大学医学部放射線科助教授

土亀 直俊

4 閉 会 17:00

受講料 : 山口県消化器がん検診研究会員は無料。

非会員医師: 2,000 円、医師以外: 1,000 円

取得単位: 日本医師会生涯教育制度 3 単位

## 第 39 回山口県医師会ゴルフ大会

1. 開催年月日 平成 16 年 11 月 3 日 (祝日)
2. 開催場所 宇部 72 カントリークラブ 万年池西コース  
吉敷郡阿知須町 TEL:0836-65-3211
3. 参加資格 山口県医師会員
4. 競技方法 18 ホールストロークプレイ  
HDCP はダブルペリア方式  
同ネットは年長者を上位とします。
5. 大会参加費 10,000 円 (参加賞・賞品・懇親会費など)
6. プレー費 個人負担
7. 申込締切 平成 16 年 9 月 15 日  
申込用紙は各都市医師会事務局にあります。

## 第 237 回木曜会 (周南地区・東洋医学を学ぶ会)

と き 平成 16 年 8 月 12 日 (木) 午後 7 時  
 ところ ホテルサンルート徳山 別館 1F 「飛鳥の間」 TEL:0834-32-2611

テーマ 第 15 回日本東洋医学会山口県部会総会を振り返って

「漢方で元気に美しく」

「東洋医学と気功・太極拳」 他

年会費 1,000 円

今回は、勉強会に引き続き暑気払いを行います。

参加ご希望の方は、7 月 31 日 (土) までにご連絡ください。

[代表世話人・解説] 周南病院院長 磯村 達

TEL:0834-21-0357

## 愛媛県医師会産業医研修会

と き 平成 16 年 9 月 12 日(日)・26 日(日)  
 ところ 愛媛県医師会館(松山市三番町 4 丁目 5-3)

## 研修内容等

9 月 12 日(日)

時 間	演 題	取得できる単位
9:00-11:00	産業医の職務 健康管理を中心に	基礎後期または生涯専門 2 単位
11:00-12:30	職種・業態別：中小企業の産業保健	基礎後期または生涯専門 1.5 単位
13:30-15:30	企業におけるメンタルヘルスの実際	基礎後期または生涯専門 2 単位
15:30-17:00	職種・業態別：製造業	基礎後期または生涯専門 1.5 単位

9 月 26 日(日)

時 間	演 題	取得できる単位
9:00-11:00	VDT 作業の労働衛生管理	基礎後期または生涯専門 2 単位
11:00-12:30	作業環境管理の実際	基礎後期または生涯専門 1.5 単位
13:30-15:30	過重労働をめぐって	基礎後期または生涯専門 2 単位
15:30-17:00	第十次労働災害防止計画における産業保健活動	基礎後期または生涯更新 1.5 単位

受講料：1 日につき 5,000 円

申込先：愛媛県医師会

受講をご希望の際は県医師会までご連絡ください。申込用紙を送付いたします。

## 第 42 回山口県内科医会学会・総会

と き 平成 16 年 8 月 29 日(日) 9:55 ~ 15:35  
 ところ 山口県総合保健会館 2F 多目的ホール

特別講演 1 「プライマリ・ケア - 消化器臨床のすすめ方 -」

山口大学総合診療部教授 福本 陽平

特別講演 2 「結核 最新の治療と考え方」

結核予防協会結核研究所主幹 和田 雅子

公開講座 1 「動物由来感染症 - ペットの病気で感染? -」

山口大学農学部獣医学科家畜内科学教授 猪熊 壽

公開講座 2 「医学気象予報 - 天気予報で病気予防 -」

立正大学地球環境科学部教授 福岡 義隆

取得単位：日臨内指定研修講座 2 単位

日本医師会生涯教育制度 3 単位

日本医師会認定産業医(基礎後期また生涯専門) 2 単位

(研修指定医のみ 日臨内指定特別研修講座 1 単位 出席件数 1 件)

主催：山口県内科医会

引受：吉南医師会・吉南内科医会

## SERM 学術講演会

と き 平成 16 年 8 月 5 日 (木) 18:45 ~ 20:00  
 ところ ホテル松政 2F「芙蓉の間」 山口市湯田温泉 3-5-8 TEL:083-922-2000

特別講演 19:00 ~ 20:00  
 「骨粗鬆症治療薬の最新の治験」 兵庫医科大学整形外科助教授 楊 鴻生

講演会終了後、情報交換の場を用意します。

後援：山口県医師会・山口県薬剤師会

## 第 5 回山口県高血圧フォーラム

と き 平成 16 年 7 月 22 日 (木) 18:45 ~  
 ところ 宇部全日空ホテル 3F「国際会議場 西」 宇部市相生町 8-1 TEL0836-32-1112

## 【Keynote Lecture】

「心不全と ARB」 山口大学医学部循環病態内科学講師 矢野 雅文

## 【特別講演】

「脳梗塞とアンジオテンシン 受容体 -ARB による脳保護作用 -」  
 愛媛大学医学部分子細胞生命科学講座医化学・心血管生物学分野教授 堀内 正嗣

「レニン - アンジオテンシン系と心血管保護 - 臨床への展開」  
 国立循環器病センター内科心臓血管部門部長 北風 政史

## 【総合討論】

取得単位：日本医師会生涯教育制度単位 3 取得

\* 講演会終了後、情報交換会を予定しています。

共催：宇部市医師会・山口大学医師会 後援：厚狭郡医師会・小野田市医師会・吉南医師会・美祿郡医師会・美祿市医師会

## 編集後記

鬱陶しい梅雨の季節となりました。今年は、入梅とともにからっとした晴天が続き、6 月下旬より雨が降る時には激しく降る豪雨型のようです。

わが国の景気も、政府・マスコミの言うように回復して来ているとは感じられず、やはり湿ったままのように思います。

大手企業はリストラにより、人件費等の大幅削減を行うことにより業績が好転して来ているようですが、この利益追求を目的とする株式会社が医療分野に参入して来たら、どうなるのでしょうか。これまで、さんざん言われてきた通り、医療費の大幅増を招くでしょうし、地域医療がズタズタになることは明白です。政府・財務省の目指す医療費削減とは逆の方向へ行ってしまいます。

2 年後の介護保険制度の見直しに向けて準備が進められていますが、介護保険の被保険者の年齢を 20 歳以上に引き下げて、給付の対象に身体障害者も含めることにして、介護保険制度と支援費制度を統合しようとしています。だれが考えても上手く行くはずがないことですが、この結論は、8 月参議院議員選挙の後に出す予定になっているそうです。

6 月 24 日、第 20 回参議院議員選挙が告示されました。西島英利日医常任理事が立候補するにあたって、明日の日本の医療・国民皆保険制度が危機に瀕していることを会員に訴え、協力を求めてきましたが、会員にどれだけ理解してもらえたか、期待と不安が半々です。

本号が発行された時には、既に結果が判明している訳ですが、よい結果が出ていることを祈るだけです。

(弘山)

From Editor